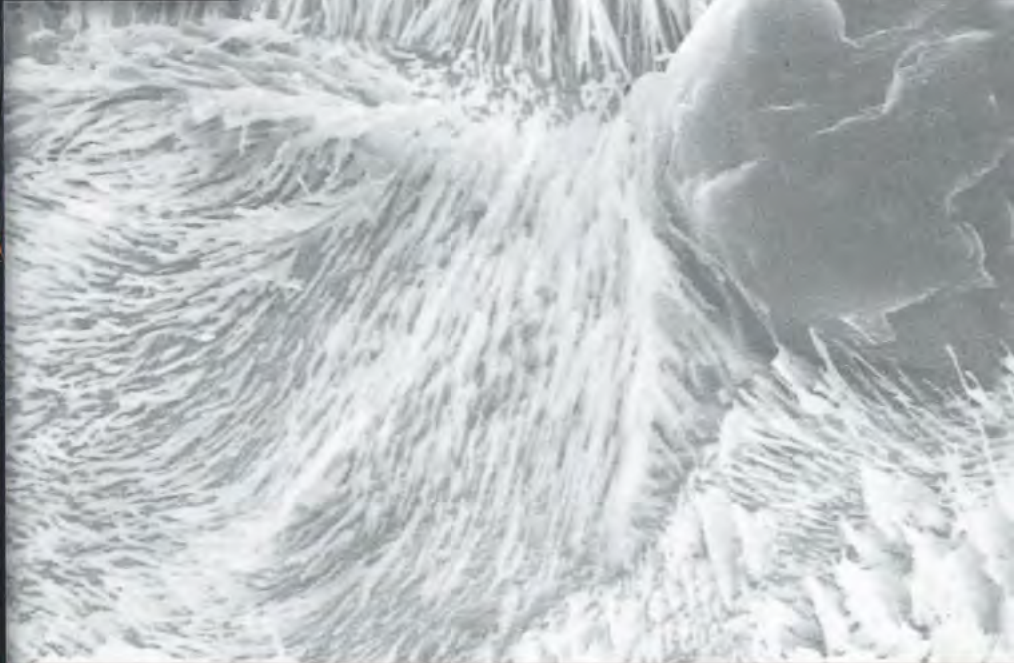
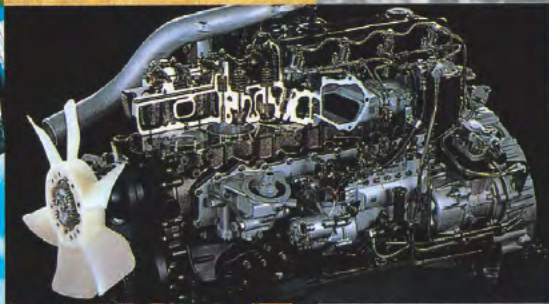


鑄造工学会のごあんない



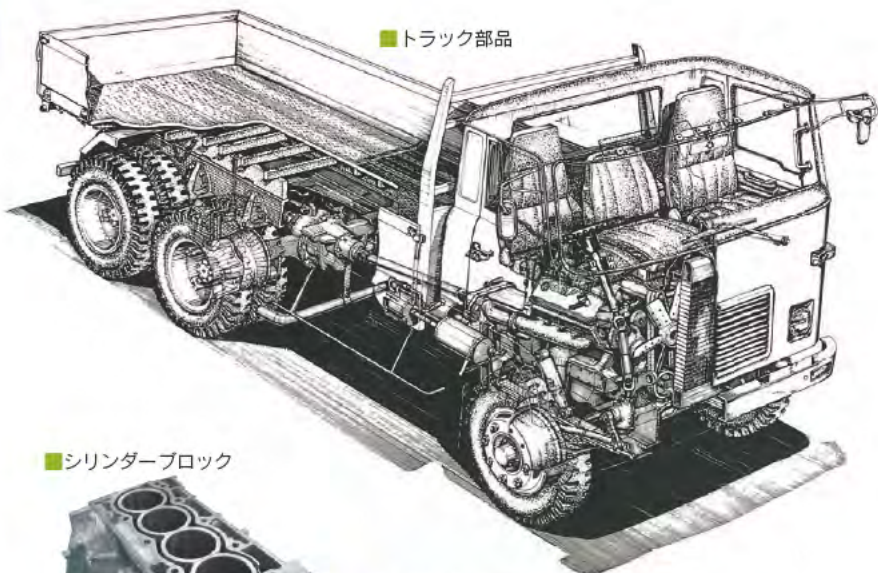
公益社団法人 日本鑄造工学会
JAPAN FOUNDRY ENGINEERING SOCIETY



ホームページ : <http://jfs.or.jp>

工業の基礎、 あらゆる産業に

交通、運輸、
エネルギーから情報産業まで、
鋳物抜きで成立する
分野はありません。



■トラック部品

■シリンダーブロック



■シリンダーヘッド



■カムシャフト



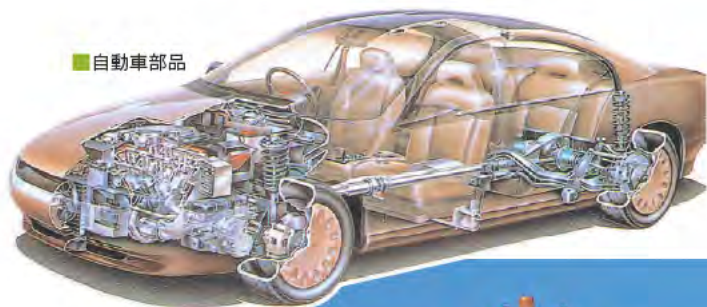
■ナックルステアリング



■スクリュー



■自動車部品



■建設機械部品



沿 革

本会の前身である社団法人日本鋳物協会は、昭和7年（1932）5月に設立されました。昭和9年（1934）4月には、我が国唯一の鋳造に関する学術団体として、文部省から認可されました。

以来75年以上の歴史の中で、産・官・学が一体となって進めてきた活発な研究活動や技術の交流・普及を通じて、我が国の鋳造に関する学問と技術の進歩・向上及び鋳造業界の発展に大きく貢献して参りました。

先端技術開発の波に乗り、その活動は、新素材部品の鋳造、ニアネットシェイプ鋳造法の発展をもとに、航空、宇宙、原子力、コンピュータ産業にまで進出・拡大しており、更に大きな飛躍を目指しています。

平成7年（1995）6月には、本会の名称を「日本鋳造工学会」と改め、より広い分野の学問・技術に対応していくことになりました。

豊かな暮らし、豊かな地球に

私たちの暮らしを支え、環境を守るためのシステムを
実現するには、鑄造技術なしでは考えられません。



南部鉄瓶



活動の概要

本会は、次のような活動を通じて、学・業界の発展に寄与しています。

●学会誌「鑄造工学」の発行

学会誌「鑄造工学」を月刊で発行しています。最新の研究論文をはじめ、技術論文、技術報告、解説、講座、現場技術改善事例、Q&Aコーナーなど、研究者、技術者、経営者のいずれの方にも役立つ情報が掲載されています。

また国際的な英文誌“Materials Transactions”の発行に協力するとともに、本会会員の投稿を積極的に促進・支援しています。

●全国講演大会の開催

全国講演大会を春季及び秋季の2回開催しています。この大会では、毎回約120件の研究発表が行われています。同時に技術講習会、YFE (Young Foundry Engineer) による「こども鑄物教室」、講演会、交歓レセプション、エクスカーション、工場見学会などの諸行事も開催され、会員にとって絶好の交流の場になっています。

●研究部会活動

研究委員会のもとに現在14の研究部会が設けられています。それ

ぞれ専門家による研究・調査・交流を活発に行っており、その活動成果は研究報告書として発行されると共に、シンポジウムを開催して広く公開されています。

●学会表彰及び奨励の実施

優れた業績をあげられた会員には、日本鑄造工学会大賞をはじめ、論文賞、技術賞など11種類の表彰を毎年行っています。また若手研究者等に対し、研究助成金や国際的な活動支援のための支給を行い、活動の奨励を図っています。

●国際交流

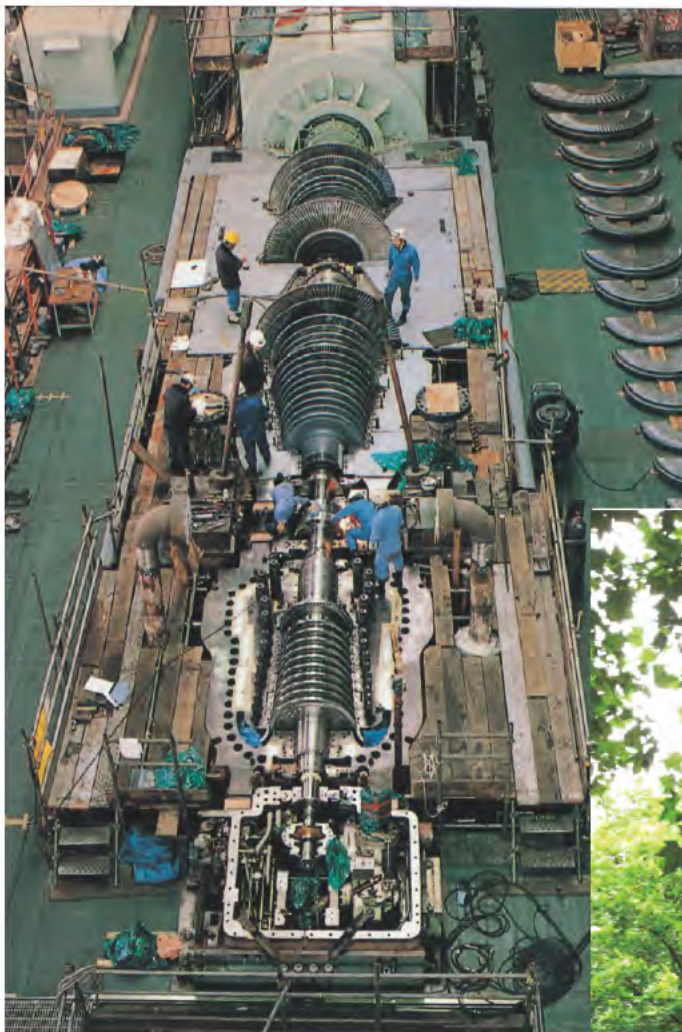
世界鑄造学会 (WFO) に加盟して、世界鑄造会議 (WFC) への参加、代表論文及び交換論文の発表、各技術分野への参加、また、世界鑄造会議 (WFC)、アジア鑄造会議 (AFC) の事務局の引受けなどを通じて、国際交流に努めています。

●支部活動

全国にある8支部が、支部単位で講演会、講習会、工場見学会、YFEの集い、研究会など、地域に密着した活動を盛んに繰り広げております。

テクノロジーから アートまで

数千年の歴史を持つ伝統工芸から、最新のハイテク産業までが、
鑄造工学のカバーする領域です。



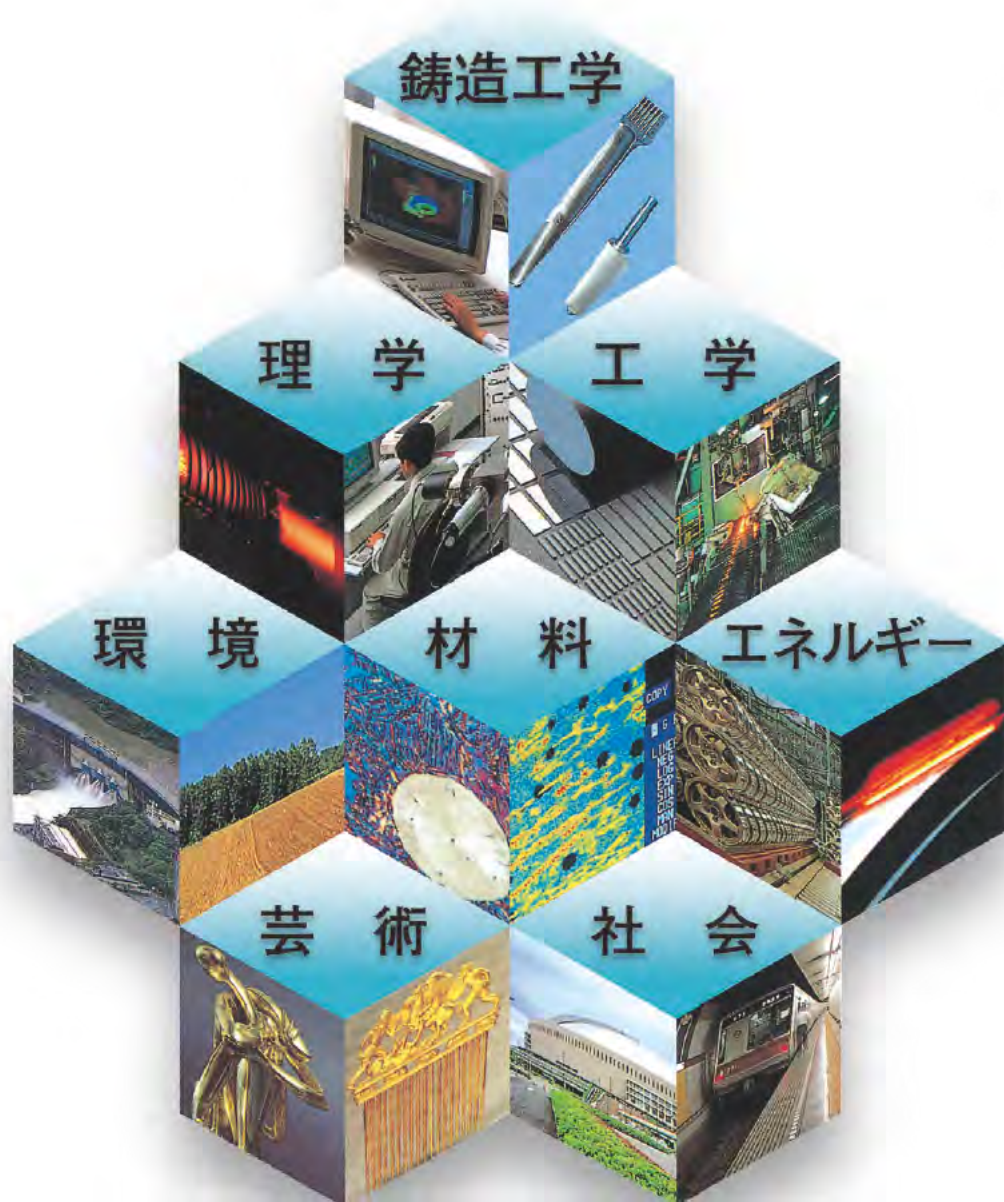
組織と運営

- 公益社団法人日本鑄造工学会（本会）の会員には次のような種類があります。正会員、学生会員、外国会員、維持会員、名誉会員。会員総数は約3,400名です。（2013年10月時点）
 - 役員である理事及び監事は総会で選任され、その任期は2年です。理事の定員は30名で、その中に会長1名、副会長2名が含まれています。監事は現在2名です。代議員200名が会員の直接選挙により選出され、本会の運営に参画します。
 - 理事会は年に6回開催され、本会の業務執行方針を決定します。年に1回開催される通常総会では、事業計画及び収支予算、事業報告及び収支決算、役員の選任などの重要事項の決定が行われます。
 - 本会の円滑な運営のため、次の委員会と国際関係委員会、財務委員会、長期ビジョン委員会を常置しています。
- 1.企画委員会
各種事業、国際交流、渉外、学会活動全般に関する企画、実施。
 - 2.編集委員会
会誌「鑄造工学」の編集、全国講演大会の講演に関すること。工学会で発刊する図書の計画立案。論文賞、網谷賞候補論文の推薦。全国講演大会における学生優秀講演賞の選出。英文誌「Materials Transactions」への投稿促進・支援。

- 3.研究委員会
鑄造工学に関する学問・技術の調査研究及び普及。下部組織として研究部会があり、会誌へのレビュー記事掲載、研究報告書の発行、シンポジウムの開催等、活発な活動を展開。
 - 4.人材育成委員会
鑄造現場の中核人材育成事業に取り組む。「鑄造カレッジ」、及び「鑄造カレッジ上級コース」の立上げ。
 - 5.行事企画委員会
会員の活性化を目的に、各種セミナーや講座等の行事を企画・立案し運営する。
 - 6.YFE委員会
若手会員（Young Foundry Engineer : YFE）の学会活動を支援し、その育成を図るために、各種事業を企画・立案し実施する。
 - 7.広報委員会
会員、非会員への広報活動によるサービス向上、活動の啓蒙、普及のための企画及び実施。情報ネットワークの構築やWEB化の推進。
- 全国に8支部（北海道、東北、関東、北陸、東海、関西、中国・四国、九州）が設けられ、それぞれの支部が地域に密着した活動を展開しています。

科学・工学の広範囲な関連分野

学術・技術・産業・文化あらゆる分野のものづくりの楽しさ、喜びを味わえます。



ご入会のお勧め

鑄造関係の業務に携わる方はもちろん、その周辺を含めて広い分野の研究者、技術者、経営者の皆様にご入会をお勧めいたします。

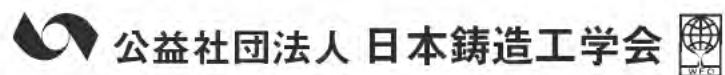
ご入会いただくと下記のような特典があります。

- (1) 会誌「鑄造工学」(月刊)が配布されます。
- (2) 本会主催の各種行事に会員価格で参加できます。
- (3) 本会発行の刊行物を会員価格で購入できます。
- (4) 学会誌及び講演大会で、研究の成果、意見などを公表できます。
- (5) 各種集会及び研究部会に参加することにより、多くの専門家と交流することができます。
- (6) 世界鑄造会議及びアジア鑄造会議に発表及び参加することができます。

維持会員には、左記の他に次のような特典があります。

- (1) 研究部会による研究報告書、技術講習会テキストなどを発行のつど、贈呈致します。
- (2) 全国講演大会などの行事には、会員扱いとして3名(1から4口の場合)まで参加することができます。
- (3) 10口以上加入の維持会員には、本会編集の図書を発行のつど、贈呈致します。

ご入会手続きは本会ホームページ <http://jfs.or.jp> 「入会案内」からお入りいただき、「入会申込フォーム」にご記入の上、お送りください。



本 部 〒105-0012 東京都港区芝大門 1-10-1 全国たばこビル 4 階
TEL 03-6809-2303 FAX 03-6809-2330

※支部事務局は、ホームページ <http://jfs.or.jp> 「お問合せ先」でご確認ください。